

佐竹北家伝承 おかりば 御狩場焼

佐竹北家では、太刀の振るいようがなくなった後、家来衆を率いて領内各地に出かけては、もっぱら狩猟に励む日々を送っておりました。

狩猟の主な対象は、鴨・キジなどの鳥類で、獲った獲物はその場でさばき食したことが、藩の公式な記録である佐竹北家日記でも確認できます。

この度、角館町観光協会が、これを「御狩場焼」と称して多くの皆様に好まれるような形で現代に復活させ、町内の飲食店で提供するとのことで、大変喜ばしく思っております。どうぞ、皆様方には、復活した当家伝承の味を角館城下の町並みの中で、往時に思いをはせながらご賞味ください。



平成二十五年 春

佐竹北家二十一代・秋田県知事

佐竹敬久